

Weekly Michael's News

<今週の聖句>

2016年7月18日発行 No.9

「あなたがたは神に選ばれ、聖なる者とされ、愛されているのですから、憐れみの心、慈愛、謙遜、柔和、寛容を身に着けなさい。互いに忍び合い、責めるべきことがあっても、赦し合いなさい。主があなたがたを赦してくださったように、あなたがたも同じようにしなさい。これらすべてに加えて、愛を身に着けなさい。愛は、すべてを完成させるきずなです。」

(コロサイの信徒への手紙 第3章4～6節)

<学生講話シリーズ第4弾!! 大きなイベントをやり遂げた八代さんを支えたものとは…?>

ここ最近、昼の礼拝では学生に講話を担当してもらう機会が増えてきています。先日も経済学部3年生の八代 祈さんが、7月の大きなイベント「七夕祭」での経験について話をしてくれました。留学生とコミュニケーションを図る事の難しさ、スケジュール通りに準備が進まない、親友とのトラブルなど、部長としてイベントをまとめていく上での苦労や失敗、そして同時にそれらを通して今までになかった気付きや成長が与えられ、見えない「つながり」の力を生かして大成功の本番を迎える…。わずか5分の講話ではありましたが、一本の青春映画を観ているかのような、生き活きとしたメッセージでした!! 様々な経験や成長を通して語られる学生の言葉は、強い力を伴って心に響くように思います。後期も多くの学生に登場してもらい、活きた成長の物語を皆と分かち合いたいと考えています!! どうぞご期待下さい!!



練習の成果を十二分に発揮!!



見えない「つながり」に感謝!!



この日は須田君も奏楽デビュー!!

<蒸し暑い夏が来た…。そんな時は心も体も過ごしやすいキリスト教センターをどうぞ!?!>

7月も前半ばを迎えましたが、ここ最近の蒸し暑さは何とも言えない厳しさがありますね…汗 かし!! そんな中でもキリスト教センターは、皆さんの心と体を癒す絶好の場所として、色々な機能を持ち合わせています。まず、「食堂から徒歩30秒」という近さ!! チャペルの中は、静かで空気が冷たいので食後にホッと一息つく場所にピッタリです。またお客様や学生に向けて、座り心地の良いソファが用意されているチャプレン室もあります!!本やDVD等も貸し出ししていますのでぜひ一度遊びに来て下さい!!



新しいカーテンも付きました!!

<先週のメッセージ> ※ここでは実際に話されたお話の要約を掲載しています

7月11日(月) 前田 次郎(理事長) テーマ:「リーダーとしての心構え」

今日の聖句は、紀元前900年頃に書かれた旧約聖書の箴言の言葉だ。ここには集団を支える女性を称える言葉が出てくる。どの時代においても、真のリーダーには男女の差などないと思うが、当時のイスラエルが男性優位社会であった事を考えると、大切な真理を見抜く目、鋭い感覚に驚かされる。その根底に流れている思想は、ただ一つ。「神を畏れる」事だ。神戸国際大学の学びにおいては、それぞれの学部で、幅広い知識に触れる事が多くなるだろう。しかし、この人間的真理である「神を畏れる」事がどれほど大切かを常に考えながら、学びに向かって欲しい。

7月12日(火) 辻 正次(経済学部) テーマ:「愛と憎しみの力」

今日、IS主導のテロやアメリカの黒人差別問題など、自分と違った文化や人種を否定し殺し合う、憎しみの連鎖が世界規模で起こっている。人間の持つ「愛」と「憎しみ」はどちらが強いのか?この問題の源には、深刻な経済格差が存在している。経済学を担当する者として重い課題を感じる。基本的な生活が保障されず、どうにもできない現状へのストレス・不満の吐き口が暴力となって表れる時代。人間は他の動物と違って相手を愛する事ができるはずだ。全ての宗教の基本に「愛」の教えがあるように、互いの心に安らぎと幸福を培う「愛」の力が求められている。

7月13日(水) 三宅 義和(経済学部)

テーマ:「幸せは、人生の苦悩から生まれる感謝によって得られるもの」

人として生まれたからには誰もが幸せになりたいという願いを持つだろう。では「幸せ」とは何か?豊かさ、成功、権力、金、夢の実現等、人それぞれだが、全ての欲求を満たせる人などいない。誰もが程度満たされ、まだ満たされていない所に目を向けては不満をこぼしている。では幸せか否かを分けるのは何だろうか?それを今日の聖句は我々に伝えている。満たされたから幸せなのではなく、苦しみや逆境であっても与えられた物事に「感謝」できる心(=有難い)なのではないだろうか。これは、道徳的説教ではなく、私たちの日常に照らした真理の言葉だ。

7月14日(木) 八代 祈(経済学部3年生) テーマ:「七夕祭を通して得られたもの」

私は今回、日本文化部で七夕祭の書道パフォーマンスを担当した。テーマはKIUでの出会いを覚えて「縁」に決まったが、いざ準備が始まると国や文化が違う留学生らとの間で問題が頻発、本番が迫る中、焦りから友人とケンカになる事もあった。しかし、そんな時に支えとなったのがテーマの「縁」だった。出会いに感謝し、仲間を大切に意識の変化が、確実に練習の雰囲気を変えた。今回の七夕祭を通して、私が学んだ事は「互助」すなわち「互いに助け合おうとする心」だ。今日の聖句にあるような互いに愛する心でKIUを盛り上げていきたいと思う。

7月15日(金) 齊藤 仁(経済学部) テーマ:「人との出会いについて」

就活をしている学生を見ると、自分の経験、特に不思議な出会いを思い出す。大学3年の頃、漠然とした中で公務員になろうか、大学院に進学するかを悩んでいた時に、ゼミの先生がいきなり「希望制で経済学の勉強会をしよう」と言われた。参加者は2名しかいなかったが毎週行われる勉強会で、その先生から様々なアドバイスを受ける事ができて、今の自分につながっている。あの時、なぜ先生が急に勉強会を提案されたか、今でも定かではないが、確実に言える事は、あれがなければ今の自分は存在していないという事。人生を豊かにする「出会い」を大切にしたい。

(文責:野間光顕)